



2015-2016 年度

# 勝浦ロータリークラブ

No. 24 / Total 2474  
例会: 2016. 01. 29  
発行: 2016. 02. 12

## 会長挨拶 漆原 摂子君

皆様こんにちは。職業奉仕月間最後の例会、実践の規範となっている4つのテストについてお話しします。これは1930年代にアメリカ人ハーバード・テーラーという人が、当時倒産の危機にあった自分の会社を立て直すために考案した社訓で、その後会社は見事に回復。その後ロータリーで、職業奉仕プログラムの構成要素として採択されました。日本語を見ると禅問答のような言葉ですが、英語の原文を分かりやすく解説したものがありました。真実かどうか (Is it the truth?) —商売において、商品の品質や納期等に嘘偽りがないかという解釈。みんなに公平か (Is it fair to all concerned?) —すべての取引先に対して公正さをもって商売をしているかという解釈。好意と友情を深めるか (Will it build goodwill and better friendship?) —商取引において会社の信用を高めるとともに、より良い人間関係を築き、取引先を増やそうという解釈。みんなのためになるかどうか (Will it be beneficial to all concerned?) —benefical(benefit)は利益、商売上適正な利益の追求は当然の事であるが、売り手だけが儲かった、買い手だけが得をしたというのではなく、すべての取引先が適正な利潤を得るべきであるという解釈。このように、4つのテストは純然たる会社経営の指針であることが理解出来ます。ロータリアンとして、職業奉仕が単なる倫理概念でなく、これを具体的に理解し、実践することが大切なのです。

## 幹事報告 斎藤 麻美子君

来週の例会は地区大会の振替休会となりますのでお間違にならない様お願い致します。又地区大会出席会員の方々には最終案内送付いたしますのでご確認ください。

## ホストファミリーからの報告 関一憲君



ルラさんはアメリカの大学への試験、ランクアップのためがんばっている。留学生として弁論大会に出場した。

国際ロータリー会長  
K. R. ラビンドラン  
第 2790 地区ガバナー  
櫻木 英一郎  
第5分区ガバナー補佐  
吉岡 諭史

第 2790 地区委員会  
ロータリー理念研究委員会  
館山 島 正彦  
地区研修委員会  
館山 渡邊 勲  
R財団寄付金小委員会  
鶴川 伊藤 正人  
職業奉仕委員会  
勝浦 斎藤 豊久  
奨学金小委員会兼学友小委員会  
勝浦 関 一憲

勝浦ロータリークラブ  
会長 漆原 摂子  
幹事 斎藤 麻美子

クラブ会報委員長  
磯野 武  
副委員長  
関 正己  
委員  
小林 悠紀  
渡辺 一浩

## ◆ 今後の予定

・2月12日 ゲスト  
卓話 酒井清彦氏 勝  
浦市観光商工課 課長

・2月19日ゲスト卓  
話勝浦市長猿田寿男氏



ニコニコBOX 吉田理愛君 三上直哉君  
本人誕生日 斎藤麻美子君



娘にフグを御馳走になった。ひれ酒が飲み足り  
なかつた。

自主申告 漆原摶子君



パートナーである麻美子さん誕生日おめでとう  
また料理教室に ふり、きんめの寄付感謝。

鈴木亨君



親友の小島さんが市長さんの卓話の日に出席予定です。

渡邊ヒロ子君



ライラ参加者の御二人の報告楽しみです。  
稲垣亮君は私の塾出身、斎藤聰君は大学事務でお世話に  
なっている。

53Th The Weekly Reports  
The Rotary Club of Katsuura

ライラ参加者報告  
斎藤聰氏



稲垣亮氏



ウォークラリー二日目完走  
成績向上率で表彰された



紹介と報告 吉田理愛君

2015-2016年度地区大会（2月7日）  
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張にて開催

出席報告 吉田理愛君 1月29日  
会員36名 出席26名 MU7名 欠席3名  
出席率91.6%